

生きて在ることを学ぶ「生存学」

病い、老い、障害とともに生きること。異なりをもつ身体。それは、福祉や医療の対象である前に、人々が生きていく過程であり、生きる知恵や技法が創出される現場です。

人々の経験を集積して考察し、社会との関わりを解析し、これからの生き方を構想し、あるべき世界を実現する手立てを示す——それが「生存学」です。

立命館大学生存学研究センターでは、「生存学」に関わる様々な課題を学際的に調査・研究しています。また、患者会やNPO等との連携、実践現場への情報支援、官民からの研究調査受託も推進しています。



研究テーマの例

- 稀少難病とともに生きる人々が経験する困難と支援
- 老いに伴う生活上の課題の変化と介護支援制度
- 地震などに被災した障害者の生活支援
- 様々な事情で生存が困難な状況にある子どもたちの養育のありかた
- 重度身体障害のため、言葉や動きで意思疎通が難しい人々のためのアシスティブ・テクノロジーの活用
- アクセシブルな電子出版物を読書障害者が使いやすくするための制度的条件 ほか

研究所としての実績

- 英文ウェブジャーナル Ars Vivendi Journal 創刊（年3回刊行）
- 雑誌「生存学」の刊行（現在4号）
- 生存学研究センター報告（現在16号）
- メールマガジンによる多言語発信（日本語、英語、韓国語）
- 企業等からの受託研究
（いずれも 2011年10月1日時点）



主な学術交流

- リーズ大学 社会学・社会政策学部障害学センター（イギリス）
- ベルガモ大学 人間科学部人間科学・健康・病気学際研究所（イタリア）
- 韓国障害学研究会
- 韓国国際障害学術学会 ほか

生存学研究センターでは他にも様々な取り組みを行っています。HPを是非ご覧ください。

URL : <http://www.ritsumeai-arsvi.org/>



センター長

立岩 真也（先端総合学術研究科・教授）

主な研究拠点

立命館大学（衣笠キャンパス） 創思館

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス（衣笠）内 生存学研究センター事務局

TEL : 075-465-8475 FAX : 075-465-8245 E-mail : ars-vive@st.ritsumeai.ac.jp

URL : <http://www.ritsumeai-arsvi.org/>